

～魅力ある地域づくり活動を応援します!～

福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)

# 令和5年度実施事業紹介



福島県いわき地方振興局

## ◆ 福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）とは？

地域の皆さんが主役となって行う地域づくり活動のうち、地域の課題を踏まえ、地域の特性を生かした個性と魅力あふれる地域づくり事業の立ちあげを支援する補助制度です。

## ◆ 補助対象事業（概要）

地域づくりに資する事業が対象です。（既存事業は対象になりません。）

事業の内容や事業を実施する団体、主な実施場所となる地域等により、申請できる「枠」が異なります。

※下記は、**令和6年度時点の内容**です。

補助事業枠等は毎年度更新される場合がありますので、**応募の際は必ず最新の情報をご確認ください。**

### ● 一般枠

地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う**広域的な視点に配慮された事業**や、**先駆的、モデル的な取組**であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
民間団体	全ての市町村の区域	2/3以内	500万円	50万円

### ● 市町村枠

市町村及び複数市町村の連合体が行う、地域創生の推進に寄与し、具体的な効果が見込める取組が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
市町村	全ての市町村の区域	3/4以内	1,000万円	50万円
複数市町村の連合体		4/5以内		

### ● 過疎・中山間地域活性化枠

過疎・中山間地域で実施される事業が対象となり、以下の3つの事業に分類されます。

（参考）いわき市内の過疎・中山間地域

旧高久町、旧豊間町、旧赤井村、旧渡辺村、旧箕輪村、旧山田村、旧川部村、旧上遠野村、旧入遠野村、旧田人村、旧上小川村、旧下小川村、旧永戸村、旧沢渡村、旧三阪村、旧大野村、旧川前村、旧大久村、旧久の浜町に該当する地区

## ① 集落等活性化事業

元気で賑わいのある地域づくりを目指し、過疎・中山間地域の集落等が行う集落等の再生・活性化への取組（集落等再生事業）及びその計画を策定する取組（集落等再生計画策定事業）が対象です。（単なる維持修繕を除く）

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
集落等	過疎・中山間地域	①集落等再生事業 4/5以内（※）	①500万円	②25万円
		②集落等再生計画策定事業 10/10以内	②30万円	②なし

※「集落等再生計画策定事業で策定した計画」または「大学生の力を活用した集落復興支援事業で策定した集落活性化計画」に基づく事業を実施する場合は、100万円まで10/10以内、100万円を超える部分は4/5以内。

## ② スタートアップ支援事業（収益事業）

集落等と協定を結び、市町村の推薦を受けた過疎・中山間地域の民間企業や協定団体が地域資源を活用して行う、地域に根差したスモールビジネスの立ちあげや生業の創出に係る取組が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
民間企業 協定団体	過疎・中山間地域	9/10以内	300万円（累計）	20万円

## ③ 集落ネットワーク圏形成事業

市町村又は小さな拠点づくり計画に定める事業実施主体が行う、生活環境の維持向上や地域資源を活用したしごとづくりなど、住民同士の話し合いを通じた地域運営の仕組みづくりを推進し、地域課題の解決を図る取組（小さな拠点づくり事業）及び市町村がその計画を策定する取組（小さな拠点づくり計画策定事業）が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
市町村 （※1）	過疎・中山間地域	①小さな拠点づくり事業 9/10以内（※2）	①500万円（累計）	①25万円
市町村		②小さな拠点づくり計画策定事業 9/10以内	②50万円	②なし

※1 以下による実施を可能とする

- ①市町村が直接実施する事業
- ②小さな拠点づくり計画に定める事業実施主体に対する委託により実施する事業
- ③小さな拠点づくり計画に定める事業実施主体に対して補助金を交付し、若しくは負担金を支出して行う事業

※2 工事請負費及び備品購入費については2/3以内

## ◆ 補助対象経費（実施マニュアルに対象経費の例示の記載あり。）

- 1 報 償 費 … 指導又は助言等を行う専門家等に対する謝金 等
- 2 委 託 料 … ホームページ制作委託料、市場調査委託料 等
- 3 工事請負費 … 土地、工作物等の造成又は製造及び改造の工事、工作物等の移転等に要する経費
- 4 備品購入費 … 機械装置及び設備等の購入費
- 5 諸 経 費 … 旅費、消耗品費、燃料費、印刷製本費、通信運搬費、使用料及び賃借料 等

## ◆ 補助対象期間

補助の期間については、**原則1年**です。

ただし、次の①～③のいずれかに該当する場合で、特に必要と認められる事業については、**3か年を限度に継続を認めることがあります。**

- ①単年度では完了しない継続事業など、将来にわたり明確な事業計画のある、発展的な事業であること
- ②前年度より補助金依存度が低下するなど、自立に向けた取組が明確に認められる事業であること
- ③前年度に顕著な事業効果が認められ、更なる発展性が見込まれる事業であること

※ 事業決定は単年度ごとに行うものであり、**毎年度応募及び審査を受ける必要があります。**  
次年度以降の補助を約束するものではありません。

## ◆ 募集時期

例年**事業実施年度の前年度の1月下旬頃～2月中旬頃**に第1次募集を行います。

※第1次募集の応募状況によっては第2次募集を実施する可能性があります。



各卒の補助容等、詳しくは福島県いわき地方振興局のホームページをご覧ください。

【ホームページ】福島県いわき地方振興局企画商工部 地域創生総合支援事業（サポート事業）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/iwaki-kikakusyokou-top/support-top.html>

相談先：福島県いわき地方振興局 企画商工部 地域づくり・商工労政課 サポート事業担当

TEL：0246-24-6006 FAX：0246-24-6019

Email：iwaki\_chiiki@pref.fukushima.lg.jp

## 令和5年度実施事業一覧

### ◆一般枠

- ①大野地区の里山環境を活用した庭園整備・賑わい創出事業 【新規】  
(株式会社起点)
- ②げんKids好間プロジェクト2023 【新規】  
(特定非営利活動法人ツークンフトロカール)
- ③湯本を本気で遊ぶプロジェクト～図書館社会実験とまちづくり人材育成～  
【継続】  
(じょうばん街工房21)
- ④リアル＆オンラインコットンツアーとSDGs研修受け入れ推進事業 STEP2  
【継続】  
(一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト)
- ⑤光と食の祭典～いわきWinter Festival～【継続】  
(公益社団法人いわき青年会議所)

## 令和5年度実施事業一覧

### ◆過疎・中山間地域活性化枠

#### ・集落等活性化事業

⑥上三坂「治療院カフェ」プロジェクト【新規】  
(上三坂地区)

#### ・スタートアップ支援事業(収益事業)

⑦ビールの里川前プロジェクト【新規】  
(Sandi Brewery)

#### ・集落ネットワーク圏形成事業

⑧川前町の小さな拠点整備事業【新規】  
(補助事業者:いわき市)  
(事業実施団体:特定非営利活動法人小さな拠点おおか)

一般枠

【補助率】2/3以内

【補助限度額】500万円

【補助対象事業費の下限】50万円

# ①大野地区の里山環境を活用した庭園整備・賑わい創出事業

【実施団体】株式会社起点

【実施地域】いわき市大野地区

【事業費】4,761千円（補助額：3,173千円）

## 主な事業内容

### ①実施団体の保有する空き地を活用した交流スペースの構築・運営

地域活性化に資する活動に伴う際に、ワークショップ・座学等で使用できるインクルーシブスペースを整備。

### ②大野地区の環境資源を活用した地域ガイドプログラムの制作

いわき市大野地区の環境資源を調査し、地域情報誌を作成。圃場来場者に配布するほか、観光施設等にも配本し、大野地区の魅力発信を行った。

### ③イベントの企画・開催（農業体験・サイクリングツーリズム）

綿花の農業体験を実施し、地域住民と地域外の方で交流を図った。また、地元事業者との連携による地域に賑わいをもたらすサイクルツアーの企画作成を実施した。

## 事業目的

大野地区の活性化に関する活動を実施し、様々な交流を通して地域コミュニティの醸成につなげていき、地域づくりに関わる人材や事業者の創出を目指す。また、地域の自然環境および資源を可視化し、大野地区に関わる人々（住民を含む）の誇りを育み、地域への愛着を深めてもらう。

## 事業効果

地域の賑わい創出のステップとして、場所づくり、地域資源の再発掘、新しいアクティビティの作成などを行い、地域との具体的な「関わりしろ」を多角的に設定した。

## 今後やってみたいこと

年代問わず憩いの場として使えるよう交流スペースの整備を続け、新たな交流拠点として、地域の情報を発信できるような体制を整備していく。

## 活動状況写真

交流スペースとなるウッドデッキ



地域内のモニターサイクリング



# ②げんKids好間プロジェクト2023

【実施団体】特定非営利活動法人 ツークンフト ロカール

【実施地域】いわき市好間地区

【事業費】8,347千円（補助額：5,000千円）

## 主な事業内容

### ①廃校の小学校を活用した「スポーツ&カルチャークラブ」の運営

旧小学校の体育館や教室を、クラブ会員がスポーツや文化活動を行えるように、施設の修繕を実施。クラブ会員となった子どもたちの放課後の活動の場として整備を行った。

### ②地域の祭りへのボランティア参加やイベントを実施

季節ごとにイベントを実施し、廃校となった小学校に賑わいを呼び起こすきっかけづくりを実施。

## 事業目的

「スポーツ&カルチャークラブ」の運営を通じて、子どもたちが放課後に安心・安全で過ごせる環境を整備する。また、当クラブを地域の交流の場として活用し、地域の住民と子どもたちで親睦を深めることで、地域の賑わいを取り戻す。

## 事業効果

旧小学校が放課後の子どもたちの居場所となったことで、地域の住民が当クラブを訪れ、自主的に草刈りや花壇の手入れなどのボランティア活動を実施するようになり、地域の交流が生まれた。

## 今後やってみたいこと

「スポーツ&カルチャークラブ」の運営を通して、地域住民と子どもたちを中心とした交流を促進させ、地域コミュニティの活性化につながるよう尽力していく。

## 活動状況写真

地域住民とのアート交流



クラブに通う子供たち





# ③湯本を本気で遊ぶプロジェクト～図書館社会実験とまちづくり人材育成～

【実施団体】 じょうばん街工房21

【実施地域】 いわき市常磐地区

【事業費】 5, 117千円（補助額：3, 329千円）

一般枠

【補助率】 2 / 3 以内

【補助限度額】 500万円

【補助対象事業費の下限】 50万円

## 主な事業内容

### ①湯本駅前でのまちづくり活動の拠点となる場所づくり

湯本駅前に整備された「あとち集会所」と「あとち広場」を活用し、地域のまちづくり活動の拠点となる図書館、フューチャーセンター、広場について、交流拠点としての機能を模索、イベント等を試行した。

### ②まちづくり人材を育成するための対話と学びを促進する場の開催

まちづくりを行っていく人材を育成するため、対話と学びを促進するまちづくりワークショップ、まちづくり勉強会を開催。

## 事業目的

これまで常磐地区のまちづくり活動に参加したことのない方や、若手世代などにまちづくりに対する関心を持ってもらい、その中からまちづくりや地域活動に主体的に参画する新しいメンバーを発掘することにより、今後常磐地区のまちづくりを担う人材を育成する。

## 事業効果

まちづくりワークショップを通して、若い世代の取組を地域の方々が支持するなど、湯本駅前のまちづくりに関心を持つ人が増えた。また、地域外の方でも湯本地区で活動したいと考える方も現れるようになり、湯本駅前の賑わい創出に寄与する取り組みとなった。

## 今後やってみたいこと

まちづくり活動拠点となる場所について、勉強会やワークショップを引き続き行い、湯本駅前再生整備に合わせていくまちづくり会社の設立とエリアマネジメント事業、リノベーションまちづくり事業などを検討していく。

## 活動状況写真

DIYワークショップ



まちづくり勉強会



# ④リアル&オンラインコットンツアーとSDGs研修受け入れ推進事業 STEP2

【実施団体】一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

【実施地域】いわき市内

【事業費】1,379千円（補助額：897千円）

一般枠

【補助率】2/3以内

【補助限度額】500万円

【補助対象事業費の下限】50万円

## 主な事業内容

### ①オンライン&リアルコットンツアーの実施

接点のない方でも参加しやすい「オンラインツアー」を企画し、オーガニックコットン、いわき市の魅力を伝え、実際にプロジェクトへの関心を高めた。また、地域内の住民に対して、プロジェクトへの参加機会を設けるため、リアルツアーも実施した。

### ②研修や農業体験を目的とした来訪者の受入の実施

本プロジェクトの魅力とSDGsの学びを提供する場として、コットン栽培圃場での研修や農業体験の受入事業を実施。

## 事業目的

団体の取組が、SDGsの目標達成といった切り口での学びの提供のできる主体になることで、地域の新たな魅力の一つとなることを目指す。

地域住民に、当プロジェクトが地域における地域魅力づくり事例として認識されるようになることで、誇りをもってもらうことを目指す。

## 事業効果

オンラインツアーの開催や農業体験の受入により、環境配慮型ライフスタイルなどに対する意識向上を図りつつ、地域外との新たなつながりを生み出し、交流人口の拡大につなげた。

## 今後やってみたいこと

研修と農業体験の提供に注力した事業運営を進め、教育旅行などとの連携を図りながら、地域の魅力創出や交流人口拡大に寄与していきたい。

## 活動状況写真

リアルコットンツアー



オンラインでの情報交換



# ⑤光と食の祭典～いわきWinter Festival～

【実施団体】公益社団法人 いわき青年会議所

【実施場所】いわき市内

【事業費】9,065千円（補助額：3,700千円）

一般枠

【補助率】2/3以内

【補助限度額】500万円

【補助対象事業費の下限】50万円

## 主な事業内容

### ①各地でのイルミネーション（第3回イルミエールいわき）の実施

いわき駅前、湯本駅前、内郷新川沿い、泉駅前、いわき平競輪場でのイルミネーションの点灯及び他イルミネーション（21世紀の森公園、小名浜アクアマリンパーク）との連携。

### ②食のイベント(光と食の祭典～いわきWinter Festival～)の開催

イルミネーションの点灯式と同日に、地元飲食店が出店する食のイベントの開催。

### ③SNSスタンプラリー・フォトコンテストの開催

各地のイルミネーションを対象としたSNSスタンプラリー&フォトコンテストの開催。

## 事業目的

少子高齢化による人口の減少と昨今のコロナ禍により、街の賑わいが低下している中、市民や市民団体と共に、いわき市が一体となれる冬の風物詩を創り出すことで、地域間の繋がりを持つ機会を増やし、市民がまちづくりに参加できるような機会を創出し、市の活性化に繋げる。

## 事業効果

食のイベントに加え、学生の出展やステージイベントを実施し、まちの賑わい創りにつなげることができた。また、フォトコンテストなどのイベントを通して、市民の参加を促し、各地域の活性化につながった。

## 今後やってみたいこと

市民参加型の同時点灯式・スタンプラリー・フォトコンテストをさらにブラッシュアップしていき、いわき市全体で「この街を活性化したい」というひとつの目的に向かって市民の皆さまとの共創のまちづくりを具体化していく。

## 活動状況写真

イルミエールいわき



イベントの様子



## ⑥上三坂「治療院カフェ」プロジェクト

【実施団体】上三坂地区

【実施場所】いわき市三和地区

【事業費】2,684千円（補助額：2,328千円）

### 主な事業内容

#### ①上三坂「治療院カフェ」の設営

いわき市上三坂地区にあるOJONCO館の厨房を改修し、カフェ機能を整え、地域住民が運営するコミュニティカフェを開設。

#### ②地元産の食材を活用したメニュー開発

地元の米・水・野菜を活用し、昔の味を知る高齢者の指導を受け、カフェメニューに発展させた。また、イベントを企画し、地域交流を兼ねた食のイベントを開催。

### 事業目的

少子高齢化による人口の減少により、地域の活力が低下しており、地域のコミュニケーションの場所や都市施設の不足し、コミュニティ等の維持が難しくなっている。そのため、地域住民が主体となり住民の居場所となるカフェを開設し、地域内の交流を図り、地域コミュニティや社会環境の維持につなげる。

### 事業効果

地域住民主体で動き出し、多くのイベントを共同で作りに上げたことによって、住民同士の連携が高まった。また、カフェメニュー開発を通して、地域の食文化や地域の魅力を再認識し、高齢者と若者世代の交流が深まった。

### 今後やってみたいこと

「治療院カフェ」の週末オープンを定着させ、カフェ運営を持続させていく。また、ボランティアを募集し、関心のある若手に働きかけて、カフェの運営を持続させていく。

### 活動状況写真

カフェ内装



イベントで提供した食事



過疎中山間地域活性化枠（スタートアップ支援（収益事業））  
 【補助率】9/10以内 ※  
 【補助限度額】300万円  
 【補助対象事業費の下限】20万円

# ⑦ビールの里川前プロジェクト

【実施団体】 Sandi Brewery

【実施場所】いわき市川前地区

【事業費】3,383千円（補助額：3,000千円）

## 主な事業内容

### ①交流人口拡大のための収穫体験イベントの開催

地域内外の交流人口を増やすため、クラフトビールに興味のある方を対象とした大麦・ホップの収穫体験イベントを実施。

### ②クラフトビール委託醸造及び試飲イベントの開催

耕作放棄地を活用し、ビール原料である「大麦」、「ホップ」を栽培。それらを使用し「いわきに乾杯！KAWAMALE（カワマエール）」の試作品を作成。試飲イベントを実施し、川前地区のPR、ビールの里川前プロジェクト事業説明を行った。

## 事業目的

いわき市川前地区において、耕作放棄地を活用したクラフトビールづくりで新たな町の特産品の創出を行い、地域のPRや地域の活性化を図っていく。また、クラフトビールを軸に、地域内外に川前地区の情報を発信し、交流人口・関係人口を拡大させ、将来の担い手・定住者を確保し、空き家の解消やまち機能の維持につなげる。

## 事業効果

クラフトビールを軸とした地域の活性化の取組について、地域おこしに興味のある方の川前地区への訪問につながった。また、この事業を通してメディアからの取材が増え、川前地区の魅力を発信することができた。

## 今後やってみたいこと

地域外の方に川前地区を訪れてもらうきっかけとして、醸造所近くの空き家をゲストハウスに改装し、予約制のクラフトビール造り体験の実施を行いたい。

## 活動状況写真

試飲イベントの様子



収穫体験の様子



# ⑧川前町の小さな拠点整備事業

【事業実施団体】NPO法人小さな拠点おおか

【実施場所】いわき市川前地区

【事業費】2,204千円（補助額：1,983千円）

## 主な事業内容

### ①保健・医療・福祉の講座や相談会の実施

地域の高齢者を対象に、小さな拠点おおかに医療・福祉等の専門職を招き、健康講座や個別相談会、運動や脳活性化トレーニング等を開催。

### ②家事や買物代行・支援の実施

移動手段のない地域高齢者の日常生活を支援するため、家事や買物代行・支援を実施。

### ③古民家の整備

拠点となる古民家の軽微な修繕等については、地域の人々のボランティアを募り、地域の方々と一緒に整備し、事業の周知、今後の利用促進へとつなげた。

## 事業目的

小さな拠点を形成し、健康に関する相談の機会創出や、買い物・家事などの日常生活の支援、交流する場の提供など地域住民により支援できる仕組みを作り、日常生活の不安を払拭し、地域の住民が安心して暮らし続けることができる地域を目指す。

## 事業効果

小さな拠点を形成し、健康増進や日常生活の支援を取り組むことで、安心して暮らすことのできる地域づくりに寄与した。各事業をボランティアにより実施することで、高齢者が社会参加する機会を創出し、心身の健康維持につながった。

## 今後やってみたいこと

自家用有償旅客運送を実施し、保険・医療・福祉事業に係る参加希望者への送迎体制を整え、地域住民のニーズに対応していく。

## 活動状況写真

元気アップ塾



ボランティアによる古民家の整備

